



西小だより 考える 葦

考える 思いやる 鍛える

第12号

令和6年3月22日発行

発行者 廻谷 敦士

校庭の河津ざくらが満開となり、私たちの目を楽しませてくれます。ソメイヨシノのつぼみも日に日に膨らんできて、別れと出会いの季節である春がやってきました。



河津ざくら

19日(火)、小学校6年間の締めくくりとなる卒業式が無事終了し、23名の6年生がこの西小学校を巣立っていきました。そして22日(金)、1年生から5年生に各担任から修了証が手渡されました。

3月は、1年間のまとめの月であると同時に、卒業式に向かって学校全体がスクラムを組んで進んでいく月です。子供たちは、1年を振り返り自分自身の頑張りを確認するとともに、6年生のために感謝の気持ちを込めて様々な活動をするこゝで、この節目である3月に大きく成長しました。

4月からは新たなステージがスタートします。子供たちにとって有意義な1年となるよう、職員一同一丸となって、令和6年度に向けての準備を進めてまいりたいと思います。

保護者の皆様には、1年間、本校教育にご理解ご協力をいただき、心より深く感謝申し上げます。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類に移行し、様々な教育活動が再開されましたが、皆様のご協力により、無事に令和5年度の全教育活動を終了することができました。4月8日(月)より、令和6年度がスタートします。短い春休みではありますが、お子様のこの1年間の頑張りを家族みんなで振り返り、自信と意欲をもって新たな学年のスタートが切れますよう、認め励ましていただけましたら幸いです。

1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

旅立ちの儀式 卒業式

19日(火)、令和5年度卒業式が挙行されました。今年度は全在校生が参加し、6年生の卒業を祝うことができました。3年ぶりの別れの言葉も実施され、卒業生・在校生それぞれの思いを込めて呼びかけを行い、素晴らしい卒業式となりました。

23名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。中学校での活躍を期待しています。



令和5年度 修了式

22日（金）、令和5年度の修了式が行われ、一足早く卒業した6年生を除いた1年生から5年生の代表児童に修了証が渡されました。その後、1年生と4年生の代表児童が、この1年間で頑張ったことと、4月からの新しい学年で頑張りたいことについての作文発表してくれました。代表児童の堂々とした態度、真剣なまなざし・素晴らしい姿勢でしっかりとお話を耳を傾ける児童の姿に、1年間頑張ってきたという満足感・充実感と自信が感じられた修了式となりました。



6年間の感謝の気持ちを込めて



5日後の19日（火）に卒業式を控えた、14日（木）の2・3校時に、6年生が、奉仕作業で南校舎の各階のトイレや職員玄関、体育館の清掃をしてくれました。和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しそうに作業に向かう姿に、何事にも前向きに取り組む6年生の素晴らしさを改めて感じる時間でした。



受け継がれるバトン

4月から最上級生となる5年生。この1年間、6年生の背中から多くのことを、学んできました。様々な場面で、バトンが引き継がれています。



登校班長の引継ぎ

旗当番引継ぎ



修了式後片付け

持ち味は様々。5年生らしさを発揮して、5年生ならではのリーダーに…。期待しています！！

